

表 5・1 令和 5 年度事業報告 (その 1)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
<p>公1・編集出版事業</p> <p>有機合成化学協会誌</p> <p>第 81 巻第 1 号～12 号(12 冊)、発行部数 4,400 部、総頁数 1,336 普通号 10 回 ; 特集号 2 回(第 5 号「日本の誇るハロゲン資源 : ハロゲンの反応と機能」 ; 第 11 号 Special Issue in English) 掲載内容 : 巻頭言 12 頁(12 件)、総説 12(1)、総合論文 704(68)、Review de Debut 22(11)、ラウンジ 63(3)、ケミカルズ覚え書き 17(5)、十字路 11(44)、感動の瞬間・MyPR 51(14)、新しい合成 41(164)、会告・協会記事等 259、広告 119 (独)科学技術振興機構が運用する電子ウェブサイト(J-STAGE)に 2023 年度分を掲載。</p> <p>単行本の編集・出版</p> <p>創立 80 周年記念出版 「ドラマチック有機合成化学 – 感動の瞬間 100 – 」有機合成化学協会編 ; (株)化学同人発行</p> <p>公 1 関連会議</p> <p>有機合成化学協会誌編集委員会(1/17, 3/17, 7/11, 9/28, 12/5)化学会館・オンライン併用、(5/16)化学会館</p>	
<p>公 2・研究会事業</p> <p>シンポジウム【本部】</p> <p>第 122 回有機合成シンポジウム ; 7/19-20 ; 東工大蔵前会館・くらまえホール 受賞講演【2022 年度有機合成化学協会賞 (技術的なもの)】 不斉有機触媒を用いる神経障害性疼痛薬ミロガバリンの高効率の合成法の開発 (第一三共) 鶴飼和利 口頭発表 33 件 ; ポスター発表 29 件 優秀ポスター賞 3 件表彰 共催 : 日本化学会, 日本薬学会, 後援 : 日本農芸化学会</p> <p>創立 80 周年記念事業 (記念式典・記念国際シンポジウム) 記念式典 ; 7/20, 記念国際シンポジウム ; 7/21 ; 東工大蔵前会館・くらまえホール 【特別講演】 1.Asymmetric Catalysis with Peptides (ETH Zürich) Helma Wennemers 2.C-H Amidation Reactions via Nitrenoid Transfer: Scope and Mechanistic Aspects (KAIST) Sukbok Chang 【招待講演】 1.Design and Optimization of Mechanochemical Reactions: Exploring New Horizons in Organic Synthesis (WPI-ICReDD, Hokkaido Univ.) Hajime Ito 2.Radical-Based Approach for Synthesis of Complex Natural Products (The University of Tokyo) Masayuki Inoue 3.Chirality-switchable Helical Macromolecular Catalysts for Asymmetric Synthesis (Kyoto Univ.) Michinori Suginome 4.Chemistry for Imaging and Target Identification of Bioactive Small Molecules (RIKEN) Mikiko Sodeoka 5.Chiral Phosphoric Acids as Versatile Enantioselective Catalysts (Tohoku Univ.) Masahiro Terada 6.Collective synthesis of natural products for elucidation of new biological activities (Nagoya Univ.) Toshio Nishikawa</p>	<p>184(76)</p> <p>式典 199(0) シンポジウム 267(68)</p>
<p>第 123 回有機合成シンポジウム ; 11/7-8 ; 早稲田大学国際会議場 オーラル&ポスター発表 32 件 ; ポスター発表(ショートプレゼンテーション有り)14 件 合計 46 件 優秀ポスター賞 5 件表彰 共催 : 日本化学会, 日本薬学会, 早稲田大学理工学術院総合研究所, 後援 : 日本農芸化学会</p>	<p>153(80)</p>

表 5.2 令和 5 年度事業報告 (その 2)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
シンポジウム【北海道支部】	
第 35 回万有札幌シンポジウム; 7/1; 北海道大学・オンライン併用 1.新反応開発: 結合活性化から求核触媒の新展開まで (阪大院工) 鷹巣守 2.分子の自己集合制御が実現する未踏メソスケールマテリアル (千葉大国際高等研究基幹) 矢貝史樹 3.天然物に学ぶケミカルバイオロジー研究 (慶大理工) 荒井緑 4.反応経路自動探索法を用いた新反応の設計とその実現-挑戦と今後の課題(北大WPI-ICReDD)美多剛 5.生体内の化学秩序に介入する触媒 (東大院薬) 金井求 ポスター発表 22 件; 主催: 万有札幌シンポジウム組織委員会	(-)
日本化学会北海道支部夏季研究発表会	(-)
若手研究者のための有機化学札幌セミナー; 11/1; 北海道大学薬学部 1.銅(I)触媒を用いた多置換アリルホウ素化合物の立体選択的合成法の開発 (富士フィルム) 小澤友 2.化合物の配座制御を志向した反応開発: 遠隔不斉誘導とモノフルオロアルキル化 (北大院薬) 森崎一宏 3.高い有機触媒による不斉ヒドロ官能基化反応の開発 (北大 ICReDD) 辻信弥 4.有機カチオン化学の開拓と機能探究 (北大院理) 石垣侑祐 5.化学修飾と指向性進化工学を活用したタンパク質エンジニアリング: 人工金属酵素とバイオ材料への応用 (北大院地球環境科学) 小野田晃	195(159)
シンポジウム【東北支部】	
第 34 回万有仙台シンポジウム; 4/22; 東北大学百周年記念講堂川内萩ホール・オンライン併用 ・超原子価ヨウ素化合物の新しい反応と合成 (東北大院薬) 吉戒直彦 ・タンデムボウ Friedel-Crafts 反応を鍵とした次世代有機 EL 材料の開発 (京大院理) 畠山琢次 ・官能基標的触媒による化学選択性の制御 (九大院薬) 大嶋孝志 ・タンパク質分解を誘導する化合物 (東大院薬) 内藤幹彦 ・生体内合成化学治療 (東工大物質理工) 田中克典 ポスター発表 21 件; 主催: 万有仙台シンポジウム組織委員会	473(319)
仙台地区秋の講演会; 5/20; 東北大学理学部大講義室・オンライン併用 1.有機触媒による精密分子変換の開発研究 - 不斉ハロゲン化の化学について - (静岡県大) 濱島義隆 2.真に実用的な医薬品合成プロセスへの挑戦 (第一三共) 中村嘉孝 3.神経変性疾患治療を目指した有機化学的アプローチ (東北大院生命) 石川稔	145(100)
令和 5 年度化学系学協会東北大会及び日本化学会東北支部 80 周年記念国際会議; 9/8-10; 東北大学農学部青葉山コモンズ; 主催: 日本化学会東北支部 澤村正也 (北大院理), 近藤梓 (東北大院理), 石田真太郎 (東北大院理), 田中信也 (東北大院工), 竹内大介 (弘前大理工), 櫻井英博 (阪大院工), 北本雄一 (東北大院工), 辻原哲也 (岩手医大薬), Krishna P. Kaliappan (インド工科大ボンベイ), Dokyoung Kim (Kyung Hee 大), 佐藤隆章 (慶應大理工), 目黒康洋 (東北大院農), 眞鍋史乃 (星薬科大薬, 東北大院薬), 田上克也 (エーザイ), 加納太一 (東京農工大院工), 安立昌篤 (東北大院薬), 徳山英利 (東北大院薬), 有機化学関連ポスター発表 137 件	855(528)
第 38 回有機合成化学若手研究者の仙台セミナー; 12/9; 東北大学農学部青葉山コモンズ大講義室・オンライン併用; 発表件数 14 件	144(113)
シンポジウム【関東支部】	
第 84 回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(東京農工大シンポジウム) 5/13; 東京農工大学; 特別講演 2 件、一般研究発表 81 件 1.芳香族トリフルオロメチル化反応: 開発・深化・展開 (群馬大院理工) 網井秀樹 2.ナノカーボン分子を巡る有機化学 (東大院理) 磯部寛之	303(163)
第 85 回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(新潟シンポジウム) 11/25-26; 新潟大学工学部; 特別講演 3 件、一般研究発表 72 件 1.原薬開発研究におけるプロセスケミストリーの醍醐味 (エーザイ) 栢野明生 2.シリルケトン・イミン類の光反応過程を活用する炭素-炭素結合形成反応 (学習院大理) 草間博之 3.可視光フロー反応によるフルオロアルキル化合物の合成法の開発 (お茶女大理) 矢島知子	166(87)

表 5・3 令和 5 年度事業報告 (その 3)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
シンポジウム【関東支部】のつづき	
<p>若手研究者のためのセミナー；8/5；東京大学薬学系総合研究棟・オンライン併用</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.EDA 錯体を利用した新規可視光駆動型ラジカル反応の開発（学習院大理）内倉達裕 2.有機電子供与剤による還元的分子変換反応の開発（産総研）熊田佳菜子 3.マルスペリン類の全合成と低原子価チタンを用いた新規還元的カップリング反応の開発(明治薬大)松永和磨 4.有機合成化学による抗体の位置選択的修飾法 AJICAP®の開発（味の素）藤井友博 5.ワンポット-クライゼン転位/分子内アルドール反応を用いた Lucidumone の簡便合成（東薬大生命科学）川本諭一郎 6.架橋多環式天然物群の多様の合成戦略の発展（北里大大村智記念研究所）千成恒 	130(68)
シンポジウム【東海支部】	
<p>有機合成セミナー；9/1；三重大学</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.化学資源変革を目指す有機合成－鐵と森で俵せな未来を！－（京大）中村正治 2.典型元素の特長を活かした構造制御による新反応開発（阪大）安田誠 	40(33)
<p>若手研究者のためのセミナー；8/19；岐阜薬科大学</p> <p>【支部奨励賞受賞講演】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.シアル酸含有糖鎖の化学合成研究とケミカルバイオロジーへの応用（岐阜大）河村奈緒子 2.ペプチド・タンパク質化学合成に資する化学選択的分子技術の開発（静岡大院工）佐藤浩平 <p>【招待講演】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.創薬を指向した化学空間の開拓（金沢大院薬）平野圭一 2.触媒設計で拓く新反応開発：キラル含フッ素化合物合成法（静岡県大薬）濱島義隆 	58(32)
<p>第 54 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会；11/11-12；三重大学</p>	418(278)
<p>第 54 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会特別討論会；11/11-12；三重大学</p> <p>【特別討論会】「SDGs 時代の有機化学」</p> <p><招待講演></p> <ol style="list-style-type: none"> 1.SDGs 時代に生き残る触媒開発（名大）石原一彰 2.新しいデバイスを利用した SDGs 対応型化学変換法の開発（岐阜薬大）佐治木弘尚 <p><依頼講演></p> <ol style="list-style-type: none"> 1.イオンと電子移動の組み合わせによる新反応～なぜ新しい反応を開発するのか？～（名大）大松亨介 2.二酸化硫黄等価体を用いるスルフィド合成（静岡県大）小西英之 3.重金属フリーな光還元による炭素－硫黄結合の炭素ラジカル源としての利用（静岡大）仙石哲也 4.有機分子触媒を用いる高度分子変換反応の開発（岐阜医療科学大）萬代大樹 	80(-)
<p>有機合成化学総合講演会；12/19；名古屋工業大学</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.まぜる、あたためる、きれいにする～有機合成の新常識～（岐阜薬大）井川貴詞 2.13 族元素を含む新結合と新反応（名大）山下誠 3.ラジカルが拓く新触媒・新反応・新機能（京大）大宮寛久 	36(23)
シンポジウム【関西支部】	
<p>第 43 回有機合成若手セミナー「明日の有機合成を担う人のために」(若手研究者のためのセミナー)</p> <p>8/8；京都工芸繊維大学；発表件数（ポスター）77 件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.新反応開発：結合活性化から求核触媒の新展開まで（阪大院工）鷹巣守 2.多環天然・非天然分子に着想を得た新反応と機能性分子の開発（京大院薬）瀧川紘 3.生物活性発見を見据えた含窒素分子の反応開発（関西学院大理）村上慧 4.量子化学計算に基づくインシリコ創薬（阪大院薬）福澤薫 5.フロー合成の医薬品開発研究への応用と連続生産に向けて（浜理薬品工業）川本哲治 6.典型元素不飽和結合を軸とする新反応，機能性分子の開発（岐阜大工）村井利昭 	184(125)
<p>2023 年度有機合成化学北陸セミナー；10/20-21；石川県青少年総合研修センター</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.新規抗がん療法の開発を目指した複合的アプローチ（阪大院理）深瀬浩一 2.ピアリール型アミノ酸の創製からカルコゲン結合による触媒構造制御への展開（京都薬大）古田巧 3.商品開発のための有機合成技術（ダイセル）北山健司 <p>発表件数（口頭）12 件；（ポスター）54 件</p>	156(118)

表 5・4 令和 5 年度事業報告 (その 4)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生 数)
<p>シンポジウム【関西支部】のつづき</p> <p>第 39 回有機合成化学セミナー；9/20-22；淡路夢舞台国際会議場／グランドニッコー淡路</p> <p>【招待講演】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.キラル分子科学の新局面（九大先導物質研）友岡克彦 2.触媒開発で拓くキラルフッ素含有化合物の合成（静岡県大薬）濱島義隆 3.可視光ペルフルオロアルキル化反応の開発とその展開（お茶女大理）矢島知子 4.ポルフィリンの新合成化学と機能探求：反芳香族ポルフィリンの化学（名大院工）忍久保洋 5.四座 PNNP 配位子に支持された 3d 金属錯体を用いた結合切断反応とその応用（東工大物質理工）中島裕美子 6.SHIONOGI における感染症治療薬のプロセス開発の事例紹介（塩野義製薬）釣谷孝之 7.芳香環の高エンタチオ選択的水素化（九大院理）桑野良一 8.芳香環構築によるキラルナノカーボンの触媒的不斉合成（東工大物質理工）田中健 <p>【令和 4 年度有機合成化学協会奨励賞】受賞講演</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.実践的合成法開発による機能性有機ヒ素化学の展開（京工繊大分子化学）井本裕顕 2.脱芳香族化反応を活用した多環性縮環型アルカロイド類の合成研究（東農工大院工）小田木陽 3.金属種を活用した奇数員環構築が拓く新しい非交互炭化水素類の合成と機能解明（阪大院工）小西彬仁 4.<i>m</i>-キノジメタンを基盤とする縮合多環ジラジカルの創出（阪大院基礎工）清水章弘 5.複合糖質の化学合成が拓く細菌-宿主間ケミカルエコロジ（阪大院理）下山敦史 <p>【2023 Mukaiyama Award】受賞講演</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.Necessity is the Mother of Invention: Natural Products and the Chemistry They Inspire (California Institute of Technology) Sarah E. Reisman 2.特殊ヘテロ環の化学（慶大薬）熊谷直哉 <p>【2023 Lectureship】受賞講演（延期；R6.1/26 オンライン）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.「Recent Adventures in Catalysis and Beyond」(ETH Zürich) Bill Morandi <p>ポスター発表：91 件；共催本部</p>	<p>205(104)</p>
<p>シンポジウム【中国・四国支部】</p> <p>若手研究者のためのセミナー(第 37 回若手化学者のための化学道場)；9/5-6；JMS アステールプラザ；世話人：広島大学</p> <p>【特別指南講演】</p> <p>化学選択性の触媒制御への挑戦、そしてデジタル有機合成へ（九大）大嶋孝志</p> <p>【師範講演】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.π 共役系ポリマーに魅せられて～ポリマー鎖の配列制御とデバイスの高機能化～（広島大）尾坂格 2.フラビン触媒による分子状酸素駆動型反応の開発（島根大）飯田拓基 3.糖を原料として用いた機能性超分子材料の開発（高知大）越智里香 4.カリックス[5]アレーンとフラレンの超分子錯形成を駆動力とした分子集合体の合成（広島大）平尾岳大 5.グリーン有機分子変換プロセスを指向した担持金属触媒の開発（香川大）和田健司 6.コロナ禍のポストク留学体験（徳島大）佐藤亮太 7.ホウ素アート錯体のメタレート転位を中心とする分子構築（岡山大）溝口玄樹 <p>学生発表件数：32 件</p>	<p>56(36)</p>
<p>シンポジウム【九州・山口支部】</p> <p>第 35 回若手研究者のためのセミナー；8/19；九州大学病院キャンパスコラボ・ステーション I</p> <p>特別講演 1 件</p> <p>アレコケミカルから重力屈性阻害剤へー有機合成化学者が植物生理学に関わった話(九大先導研)新藤充</p> <p>招待講演 1 件</p> <p>ヘテロ元素を含む基底開設一重項ジラジカロイドの化学の新展開（滋賀県立大工）加藤真一郎</p> <p>受賞講演（ポスター賞）8 件；企業紹介 2 件</p>	<p>84(58)</p>

表 5・5 令和 5 年度事業報告 (その 5)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
講習会【本部】	
2023 年度 有機合成化学講習会；11/16；化学会館；テーマ：『有機フッ素化学の多様な有機合成』 ◇講義 1.ルイス酸を活用した炭素-フッ素結合の活性化による有機フッ素化合物の新しい合成法（阪大院工）西本能弘 2.フッ素の特性を活かした反応およびドラッグデリバリーシステムの開発（東大院工）相川光介 3.複合糖質の機能改変：フッ素原子のポテンシャルを検証する（九大院薬）平井剛 4.含フッ素超原子価硫黄化合物の合成（名工大院工）柴田哲男 ◇情報交換・交流会 共催：日本化学会,日本薬学会,協賛：日本フッ素化学会,後援：日本農芸化学会	36(8)
「AIと有機合成化学」研究部会 第 11 回勉強会；6/21；ワイム貸会議室お茶の水・オンライン併用 1.天然物が織り成す化合物潜在空間が拓く生物活性分子デザイン（阪大院工）菊地和也 2.化合物潜在空間の構築によるパーチャル化合物構造の探索と設計（慶大理工）榎原康文 3.グラフ深層学習を用いた有機合成のための AI 基盤（京大院医）小島諒介	121(5)
「AIと有機合成化学」研究部会 第 12 回勉強会；11/13；ワイム貸会議室お茶の水・オンライン併用 テーマ『Python による化合物データを用いた予測モデルの構築と利用法』 講師；小島諒介（京大院医）；1.講義（座学），2.デモ実演と実習（ハンズオン）	85(6)
「ニューモダリティと有機合成化学」研究部会 第 9 回勉強会；9/29；連合会館 1.有機合成化学の矜持で生体高分子を修飾する（星薬大・東北大院薬）眞鍋史乃 2.天然植物毒によるリン酸化依存的な蛋白質間相互作用の操作（信州大院農）大神田淳子 3. In vivo 有機化学のケミカルバイオロジーで拓くコバレントドラッグ創薬（九大院薬）王子田彰夫	35(0)
「ニューモダリティと有機合成化学」研究部会 第 10 回勉強会；11/27；ワイム貸会議室お茶の水 1.新規モダリティとしての siRNA 核酸医薬品（東大院理）程久美子 2.神経変性疾患治療を目指した有機化学的アプローチ（東北大院生命科学）石川稔 3.自己集合体のケミカルバイオロジー（京大化研/iCeMS）上杉志成	28(0)
講習会【東北支部】	
岩手地区講演会；11/1；岩手大学理工学部一祐会館大会議室 1.クルクミンをシードとする新規有機低分子の合成と破骨細胞形成阻害活性（岩手医大薬）河野富一 2.合成化学者は加水分解酵素リパーゼを不斉合成にどのように活用しうるか？（阪大院薬）赤井周司	42(35)
福島地区講演会；12/15；日本大学工学部 6 2 号館 3 階 AV 講義室 1.有機合成化学のバイオロジー研究への応用（東大院医）松本桂彦 2.セルロースを活用した糖鎖固定化ゲルナノ粒子の合成と分子認識材料としての利用(福島大食農)尾形慎	60(50)
講習会【関西支部】	
有機合成 2 月セミナー「有機合成のニュートレンド 2023」；1/30；大阪科学技術センター 1.パラジウム触媒による含ケイ素環状化合物合成の新展開（阪大院基礎工）新谷亮 2.経口医薬品の創製～SGLT2 阻害薬 TA-7284(canagliflozin)と MC1R 作動薬 MT-7117 (dersimelagon) を例に～（田辺三菱製薬）山元康王 3.π 拡張 8 員環の「羽ばたき」を活かした材料展開と 5 つの合成アプローチ（京大院理）齊藤尚平 4.ヘテロ原子含有 π 共役化合物の合成と機能～ベンゼン(六角形)をヘテロ環や正多角形に置き換える～（兵庫県大院理）三宅由寛 5.HIF-Prolyl Hydroxylase 阻害薬エナロデュスタット(エナロイ®)の創製（日本たばこ産業）生越洋介 6.ユニークな pH・温度応答性を示す樹状高分子の合成と DDS への展開（阪公立大院工）児島千恵 7.生体分子の構造変換ダイナミズムへ介入する化学触媒（東大院薬）金井求	56(24)
懇談会【本部】	
2023 新春特別フォーラム；1/18；ワイム貸会議室お茶の水・山の上ホテル [第 I 部 講演] 基調講演(1)「革新的な新薬創出に向けて～田辺三菱製薬の挑戦～」(田辺三菱製薬) 上野裕明 基調講演(2)「結晶スポンジ法：原理の創出から社会実装まで」(東大) 藤田誠	45(0)

表 5・6 令和 5 年度事業報告 (その 6)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
懇談会【本部】のつづき	
前ページのつづき [第Ⅱ部 賀詞交換会] 着席形式 共催：有機合成化学協会関東支部	
第 2 回「ニューモダリティと有機合成化学」公開講演会；5/18；東京工業大学デジタル多目的ホール 1. AJICAP®：位置特異的 ADC の次世代化学合成法および安定性付与リンカーの開発 (味の素) 奥住竜哉 2. ナノテクノロジーが拓く未来医療：体内で薬を運び、作り、操る分子技術の開発 (川崎市産業振興財団) 片岡一則 3. 核酸標的的低分子創製の考え方 (阪大産研) 中谷和彦 4. 医薬品創製における新規モダリティープラットフォーム開発 (中外製薬) 山田尚文	61(4)
2023 中堅・若手リーダーのための YUGOKAFe[ユウゴウカフェ](講演 & 討論会)；10/27；早稲田大学リサーチイノベーションセンター/コマツ 100 周年記念ホール・会議室 [第Ⅰ部：講演] 1. 研究視点から見た経営論～“あったらいいな”と“なくてはならない”経営の比較～ (小林製薬) 松嶋雄司 2. 天然物の全合成：独創性の追求と挫折と妥協と光明 (北大院理) 谷野圭持 [第Ⅱ部：グループ討論] [第Ⅲ部：情報交換・交流会]	78(0)
学生のためのセミナー (企業の若手研究者との討論・交流会)・第 8 弾；10/28；オンライン 1. パネラーのプレゼンテーション (1) 浅場絢メッツ (東レ)，(2) 阪口博信 (AGC)，(3) 崎山訓史 (日本曹達)， (4) 佐藤亮 (アステラス製薬)，(5) 竹内孝輔 (第一三共)，(6) 山賀英臣 (三菱ケミカル)， (7) 渡邊義一 (武田薬品工業) 2. ブレイクアウトルーム懇談会 3. 全体総括	61(61)
令和 4 年(2022 年)度企業冠賞受賞講演会；10/4；オンライン；受賞講演 4 件 1.【カナカ・生命科学賞】 生体寛容性人工金属酵素の開発を基盤とした生体内合成化学治療(東工大物質理工/理研)田中克典 2.【東ソー・環境エネルギー賞】 環境調和に立脚した二酸化炭素を炭素源とする触媒的有機合成反応の開発 (京大院工) 藤原哲晶 3.【日産化学・有機合成新反応/手法賞】 拡張 π 共役分子の迅速合成を可能にするロジウム触媒を用いた縫合反応の開発(阪大院基礎工)新谷亮 4.【富士フイルム・機能性材料化学賞】 高速スピン変換を基軸とする革新的有機発光材料の創製 (九大高等院) 安田琢磨	173(12)
懇談会【関東支部】	
有機合成化学ミニシンポジウム①；4/28；東京理科大学・オンライン併用 1. 映像分子科学：分子を見て化学する (東大院理) 中村栄一	172(98)
有機合成化学ミニシンポジウム②	中止
有機合成化学ミニシンポジウム③(ミニシンポジウム千葉 2023)；11/17；千葉大学 1. 大村天然物をターゲットとした効率的合成と有用生物活性物質のリード探索 (北里大大村智記念研) 廣瀬友靖 2. 医薬品製造におけるケミストの関わり (キッセイ薬品工業) 曽根原順一 3. 天然物に学ぶ有機合成化学の新展開を目指して (東大院理) 大栗博毅	74(48)
有機合成化学ミニシンポジウム④(ミニシンポジウム多摩 2023)；11/11；工学院大学(共催) 1. ショート・トーク 1) α -ジアゾエステルの化学 (工学院大先進工) 安井英子 2) ノーベル賞化学をもっと便利に (工学院大先進工) 坂田優希 3) 八王子発の天然有機化合物の探索研究 (工学院大先進工) 大野修 2. 誰でも手軽に行える高選択的反応の開発を目指して (武蔵野大薬) 穴田仁洋	84(59)

表 5・7 令和 5 年度事業報告 (その 7)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
懇談会【関東支部】のつづき	
前ページのつづき 3.不斉触媒で新規化合物を合成する化学を目指して(千葉大院理) 荒井孝義 4.分子内野崎-檜山-高井-岸反応を用いた天然物の全合成(慶大理工) 高尾賢一	
合同ミニシンポジウム「学生シンポジウム－憧憬から目標へ－」; 12/16; オンライン 1.キラル超原子価ハロゲン化合物を触媒とする不斉合成(千葉大院工) 吉田泰志 2.塩基性窒素を持たない fB オピオイド受容体逆作動薬、作動薬の創出(北里大薬) 平山重人 3.天然物合成から沙漠土壌の緑地化研究へ(徳島大院薬) 難波康祐 4.ホウ素のルイス酸性が制御する合成化学(広島大院先進理工) 吉田拡人 5.高難度酸化反応を基盤としたアルカロイドの全合成(東北大院薬) 徳山英利	180(137)
第 18 回有機合成化学談話会(三島セミナー2023); 12/22-23; 東レ三島総合研修センター 1.医薬品研究開発とライセンス(帝人ファーマ) 竹之内一弥 2.合成とものとりが拓く天然物ケミカルバイオロジー(慶大理工) 荒井緑 3.一期一会; 夢のある天然物創薬(北里大大村智記念研究所) 砂塚敏明 4.グリーンでグリーンな反応の開発ー C-H 結合官能基化の新技术ー(慶大理工) 垣内史敏 ポスター発表 6 件	23(10)
懇談会【東海支部】	
訪日学者講演会; 1/16; 岐阜薬科大学 Tamim Darwish, Ph.D. Director (The National Deuteration Facility (NDF), Australian Nuclear Science and Technology Organization (ANSTO), Sydney, Australia)	45(29)
訪日学者講演会; 3/9; 名古屋工業大学 Prof. Dr. Bernhard Witulski (CNRS UMR 6507, ENSICAEN & UNICAEN, Univ. Normandie, France)	20(15)
訪日学者講演会; 7/14; 名古屋大学 Prof. Dr. Ying Yeung YEUNG (The Chinese University of Hong Kong, China)	83(71)
訪日学者講演会; 9/28; 名古屋大学 Prof. Dr. Thomas Wirth (School of Chemistry, Cardiff University, UK)	83(74)
訪日学者講演会; 12/4; 岐阜薬科大学 Dr. Michael Moir (Organic Synthetic Chemist, National Deuteration Facility, ANSTO, Australia)	31(21)
懇談会【関西支部】	
有機合成早春講演会; 3/29; 大阪科学技術センター 1.ヘテロ原子の特性を活かした反応開発(阪公立大院工) 小川昭弥 2.有機化学と分子認識: 二兎を追って 36 年(福井大院工) 高橋一郎 3.鎖状, 3~7・10~19・38 員環化合物の高選択的有機合成(関西学院大理) 田辺陽	31(2)
セミナー化学千一夜「明日の化学への夢を語ろう」; 6/23-24; 大塚製薬(株)ヴェガホール・板野工場/ホテル千秋閣 1.多剤耐性肺結核治療薬デラマニドのプロセス開発(大塚製薬) 三宅将仁 2.有機合成のデジタル化に基づく分子性ハロゲンの科学ー有機合成 DX への挑戦ー(分子研) 榎山儀恵 3.【見学会】板野工場および 100 年記念施設 4.【放談会】有機合成研究 45 年を振り返って(阪大) 三浦雅博 5.地方大学で研究して、もうすぐ四半世紀: グリーンものづくりを目指して(静岡大グリーン科技研) 間瀬暢之 6.ラジカルが拓く新触媒・新反応・新機能(京大化研) 大宮寛久	30(2)
懇談会【中国・四国支部】	
第 82 回パネル討論会; 5/20; 岡山大学「含窒素分子の合成化学」 1.生物活性分子創出に向けた含窒素分子合成(関西学院大理) 村上慧 2.N1 ユニット活性種の創製に基づく含窒素分子合成(阪大院工) 南方聖司 参加者数: 113 名(80 名)	113(80)

表 5・8 令和 5 年度事業報告 (その 8)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
懇談会【中国・四国支部】のつづき	
来日学者講演会；3/2；鳥取大学 Chemical probes for mycobacterial glycans: from tuberculosis tools to therapeutic opportunities (Central Michigan University, USA) Prof. Benjamin Swarts	30(12)
来日学者講演会；3/10；広島大学 Frustrated Lewis Pair (FLP) Chelation for Main Group Materials Synthesis (University of Alberta, Canada) Prof. Eric Rivard	40(29)
来日学者講演会；11/24；岡山大学 Dinitrogen Activation and Transformation Directly Affording N-Containing Compounds (Peking University, China) Prof. Zhenfeng Xi	87(58)
来日学者講演会；11/24；岡山大学 Recent Advances in Rhodium-Catalyzed Asymmetric Reactions (National Taiwan Normal University) Prof. Tamio Hayashi	87(58)
来日学者講演会；11/25；岡山大学 Catalytic Activation of Small Molecules Towards Polyaromatic Hydrocarbons (Charles University, Czech Republic) Prof. Martin Kotora	76(49)
来日学者講演会；11/25；岡山大学 Photochemistry & Organocatalysis: New Radical Opportunities (The University of Bologna, Italy) Prof. Paolo Melchiorre	76(49)
第 20 回ナノ・バイオ・インフォ化学シンポジウム；12/8-9；広島大学 口頭発表 (A) (20 分)、口頭発表 (B) (15 分)；学生発表件数 14 件 主催：ナノ・バイオ・インフォ化学研究会、日本化学会	55(39)
懇談会【九州・山口支部】	
第 1 回有機合成化学講演会；6/2；九州大学病院キャンパス・オンライン併用 招待講演 3 件 1. 遷移金属触媒を用いる脱芳香化反応 (千葉大院薬) 根本哲宏 2. グリーンケミストリーを意識した触媒開発 (高砂香料工業) 奈良秀樹 3. 環状アミン類やアルコール類の奇異な酸化反応との出会い (長崎大院薬) 尾野村治	77(28)
第 60 回化学関連支部合同九州大会；7/1；北九州国際会議場 招待講演：8 件 【有機化学講演】キラルケイ素分子の化学 (熊本大院先端科学) 井川和宣 ポスター発表 627 件；有機化学 85 件 主催：化学関係九州支部 担当：繊維学会西部支部	-(-)
来日学者講演会	中止
見学会	
本部；実施なし	
九州山口支部；東ソー(株)南陽事業所；10/27	20(-)
公 2 関連会議	
有機合成化学協会事業委員会；5 回(3/31,5/23,7/4,10/2,12/11)；化学会館・オンライン併用 第 122 回有機合成シンポジウムプログラム編成会議；1 回(5/23)；化学会館・オンライン併用 第 123 回有機合成シンポジウムプログラム編成会議；1 回(7/4)；化学会館・オンライン併用 中堅・若手リーダーのための YUGOKAFe 企画委員会；4 回(4/21,9/11,10/3,10/5)；オンライン 学生のためのセミナー企画委員会；2 回(9/1,10/28)；オンライン 「AIと有機合成化学」研究部会/幹事会；2 回(3/6,12/19)；オンライン；勉強会企画会議；1 回(11/1)；オンライン 「ニューモグラティと有機合成化学」研究部会/幹事会；2 回(4/11；TKP お御茶ノ水,6/12；中外製薬戸塚研究所)；勉強会企画会議；2 回(5/9,6/2)；オンライン	

表 5・9 令和 5 年度事業報告 (その 9)

事業の名称および事業の概要	担当機関
公3. 表彰事業	
有機合成化学特別賞の選考と受賞者(1 件採択)	
理事による候補者推薦；6～8 月郵便による投票	理事会
理事によって推薦された候補者からの受賞者選考；10/12；オンライン ●奈良坂紘一（東大名誉教授）業績：先導的有機合成反応の開発 表彰式・受賞講演(R6 年 2/15)	賞選考委員会
有機合成化学協会賞・奨励賞の選考と受賞者(協会賞：3 件；奨励賞：5 件採択)	
各支部推薦委員会；～7 月	賞選考委員会
奨励賞書面審査；実施	
協会賞(学術/技術)・奨励賞選考委員会；10/11～10/12；オンライン	
【有機合成化学協会賞(学術的なもの)】 ●大江浩一（京大院工）業績：有機不飽和活性種-金属錯体の新規発生法に基づく触媒的有機合成反応の開拓 ●佐治木弘尚（岐阜薬大）業績：重水素標識化合物合成法の開拓：水素による白金族不均一系触媒活性化の発見とその展開 【有機合成化学協会賞(技術的なもの)】 ●釣谷孝之他 5 名（塩野義製薬）業績：COVID-19 治療薬エンシトレルビルの実用的製造法の開発 【有機合成化学奨励賞】 ●伊藤傑（横浜国大院工）業績：精密有機合成を基盤とした革新的発光機能分子の開拓 ●大好孝幸（筑波大数理物質）業績：生物活性天然物の全合成と構造活性相関研究 ●北之園拓（東大院理）業績：水中特異的な有機合成反応の開発 ●清川謙介（阪大院工）業績：酸化的極性転換に基づく官能基導入法の開発 ●服部倫弘（中部大先端研究セ）業績：基質支配に基づく新規ペプチド結合形成反応の確立 表彰式(R6 年 2/15) 受賞講演：協会賞(学術的なもの：R6 年 2/15；技術的なもの：日時未定) 奨励賞(R6 年 9 月)	
受賞講演：協会賞(学術的なもの：R6 年 2/15；技術的なもの：日時未定) 奨励賞(R6 年 9 月)	
Mukaiyama Award の選考と受賞者(国内および海外各 1 件採択)	
Mukaiyama Award 委員会；2024 受賞者選考委員会 8/16；オンライン	Mukaiyama Award 委員会
●山口潤一郎（早大理工） Development of common functional group-cleavage couplings, bond exchange reactions, and catalytic dearomatization functionalization using unique molecular catalysts, leading new trends ●Ryan A. Shenvi（The Scripps Research, La Jolla, CA, U.S.A.） Innovations in catalysis based on metal hydride hydrogen atom transfer(MHAT), spanning mechanistic study, method development and total syntheses of natural bioactive products 表彰式・受賞講演；R6 年 9 月	
Lectureship Award	
●Bill Morandi（ETH Zürich, Switzerland） Recent Adventures in Catalysis and Beyond 受賞日；R5 年 9/20, 表彰式・受賞講演；R6 年 1/26（オンライン）	関西支部
企業冠賞の選考と受賞者(各 1 件、合計 4 件採択)；書面審査(郵便；～11/20)	
【カネカ・生命科学賞】 ●阿部洋（名大）業績：分子創製に基づく RNA 研究の展開 【東ソー・環境エネルギー賞】 ●難波康祐（徳島大）業績：環境問題に貢献する天然物合成 【日産化学・有機合成新反応／手法賞】 ●國信洋一郎（九大）業績：非共有結合性相互作用を活用する位置選択的な炭素－水素結合変換反応の開発 【富士フイルム・機能性材料化学賞】 ●小西玄一（東工大）業績：能性有機蛍光色素の合成とデバイスおよび分子イメージングへの応用 表彰式(R6 年 2/15)；受賞講演(R6.日時未定・オンライン)	企業冠賞選考委員会

表 5・10 令和 5 年度事業報告 (その 10)

事業の名称および事業の概要	担当機関
高砂香料国際賞「野依賞」関連	
<p>野依賞委員会；2023 受賞者選考委員会 8/9；オンライン</p> <p>●Kenso Soai (Tokyo University of Science, Japan) Professor Soai made a groundbreaking discovery in the realm of chirality by identifying the first instance of asymmetric autocatalysis involving 5-pyrimidyl alkanol in the enantioselective addition of diisopropylzinc to pyrimidine-5-carbaldehyde, called as the Soai reaction. Asymmetric autocatalysis is a reaction in which a chiral product serves as a catalyst for its own production. The Soai reaction exhibits the remarkable capability to significantly enhance the enantiomeric excess of the initial asymmetric autocatalyst, transforming it into a near-enantiopure compound during the consecutive asymmetric autocatalysis. Furthermore, his research delved into the origins of chirality, using various chiral triggers within the Soai reaction to relate to the chirality of highly enantioenriched organic compounds. The Soai reaction was found to be triggered by diverse factors, including chiral minerals, circularly polarized light, chiral crystals composed of achiral compounds like γ-glycine and isotope chirality. Most astonishingly, the Soai reaction demonstrated the ability to achieve spontaneous absolute asymmetric synthesis without any external chiral factors. Thus, Professor Soai has made invaluable contributions to the study of chirality.</p> <p>表彰式・受賞講演；R6 年 2/15</p>	野依賞委員会
支部表彰	
<p>【東北支部】 第 38 回有機合成化学若手研究者の仙台セミナー賞；12/12 15 分講演の部；野田健太（東北大院薬），諏訪朝也（東北大院生命） ショートトークの部；岩田真輝（東北大院薬），吉田直輝（東北大院工）</p>	-(-)
<p>【関西支部】 第 21 回支部賞授賞講演会；10/23；大阪科学技術センター 1.反応性多窒素原子官能基を操る有機合成化学の開拓（富山大学術）谷本裕樹 2.芳香環を密に集積させた π クラスター分子の創出と機能解明（阪大院理）西内智彦 3.高難度光還元反応を実現するカルバゾール光増感剤の開発と機能展開（神戸大院理）松原亮介</p>	-(-)
<p>【中国・四国支部】 有機合成化学特別講演会「支部奨励賞受賞講演並びに特別招待講演会」；11/18；広島大学 【支部奨励賞受賞講演】 1.カリックス[5]アレーンとフラレンのホスト-ゲスト錯形成を基盤とした超分子集合体の開発（広島大）平尾岳大 2.含窒素芳香族複素環化合物の光機能開拓（徳島大）八木下史敏 【特別招待講演】 遷移金属触媒を用いる脱芳香化反応（千葉大）根本哲宏</p>	60(36)
<p>【九州・山口支部】 第 33 回万有福岡シンポジウム；6/3；九州大学；支部ポスター賞（2 名） 主催：万有福岡シンポジウム組織委員会</p>	-(-)
<p>【九州・山口支部】 第 2 回有機合成化学講演会・支部各賞表彰式；10/26；東ソ-南陽事業所 招待講演 1.ホウ素を基軸とする分子プローブ合成戦略（九大院薬）丹羽節 2.連続フロー法による有機合成化学の革新（東大院理）小林修 3.有機チタン錯体触媒によるシクロオレフィン共重合体の精密合成（広大院先進理工）塩野毅</p>	75(1)
他 1・共益事業	担当機関
ゆうごう会	
ゆうごう会（東京；大阪）	中止

表 5・11 令和 5 年度事業報告（その 11）

事業の名称および事業の概要	担当機関
他 1・共益事業のつづき	
海外視察団派遣	
海外視察団派遣；実施なし	
技術アドバイス事業	
技術アドバイス事業；申請なし	
研究企画賞	
研究企画賞選考委員会；11/15；オンライン；21 件採択	
<p>●味の素研究企画賞：佐藤浩平（静岡大学） 有機フッ素化合物分解酵素の完全化学合成と酵素鏡像体化による安定性向上に関する新戦略</p> <p>●関東化学研究企画賞：橋本善光（昭和薬科大学） 酸塩基触媒によるニトロンの発生法と付加環化反応制御法の開発</p> <p>●コニカミルタ研究企画賞：宇佐見享嗣（名古屋大学） 昆虫の異物代謝能力を利用した新奇機能性ナノカーボン材料の開発</p> <p>●塩野義製薬研究企画賞：水野翔太（相模中央化学研究所） ルテニウム錯体触媒によるヒドロキシ基を脱離基とするアリル化合物の環境調和型合成法の開発</p> <p>●第一三共研究企画賞：藤野遥（東京大学） 光触媒型ラジカル反応を駆使する高酸化度天然物トリプトニン A の効率的全合成戦略の確立</p> <p>●ダイセル研究企画賞：阿部純平（大阪大学） 小胞体内 N 結合型糖タンパク質品質管理機構への UGGT の寄与解明を指向した新規 UGGT 阻害剤の開発</p> <p>●田辺三菱製薬研究企画賞：安井孝介（大阪大学） スルホキシミンを多機能性官能基とする多置換アルケンの立体選択的合成</p> <p>●中外製薬研究企画賞：安川直樹（名古屋工業大学） シアノ基の脱離を起点とした革新的合成戦略の提唱</p> <p>●DIC 研究企画賞：中野健央（信州大学） 実用的フォトンアップコンバージョンを目指した、重原子フリー型ドナー分子の設計と創製</p> <p>●帝人ファーマ研究企画賞：川越文裕（帝京大学） 側鎖フッ素化ビタミン D₃ 誘導体の網羅的合成と生物活性評価による医薬品への展開</p> <p>●東ソー研究企画賞：関根康平（九州大学） 炭素資源の有効活用を指向した芳香族炭素 – 窒素結合の切断を伴う可視光駆動型二官能基化反応の開拓</p> <p>●東ソー・ファインケム研究企画賞：奥田靖浩（岡山理科大学） 多環芳香族骨格の迅速構築を指向したアレーノド形成によるパイ拡張化学</p> <p>●日産化学研究企画賞：鹿又喬平（大阪大学） Pickering エマルションによる反応場の区画化が可能にする多触媒反応の新設計戦略</p> <p>●日本触媒研究企画賞：シュ ウエイ（慶應義塾大学） キノリンを基盤とする新規材料の開発</p> <p>●富士フイルム研究企画賞：渡邊康平（東京大学） フロー法を指向したヘテロ元素ラジカル種のオンデマンド供給法の開発</p> <p>●富士フイルム和光純薬研究企画賞：大澤歩（京都大学） ニトロアルカンのリンチピン型三成分連結反応</p> <p>●保土谷化学工業研究企画賞：谷岡卓（富山大学） 生体深部の光癌治療を志向した近赤外光レドックス触媒の開発</p> <p>●三井化学研究企画賞：黒田悠介（京都大学） 人工エポキシダーゼのテラーメイド創生</p> <p>●三菱ガス化学研究企画賞：姜法雄（神戸大学） 未開拓資源「非典型」イソフラボノイドの生合成を模倣した網羅的化学合成</p> <p>●三菱ケミカル研究企画賞：清水大貴（京都大学） ボトムアップ型分子設計に基づく赤外エレクトロクロミズム材料の設計と自在制御</p>	研究企画賞 選考委員会

表 5・12 令和 5 年度事業報告（その 12）

事業の名称および事業の概要	担当機関
研究企画賞のつづき	
<p>前ページのつづき</p> <p>●Meiji Seika ファルマ研究企画賞：小西成樹（北里大学）</p> <p>粘膜ワクチンアジュバントへの応用を指向した生薬ヘズ由来ラブラボシド類のフロー連続全合成</p>	
法人運営関連会議	
本部関連	
第 86 回通常総会(定期社員総会；2/15；如水会館)	
運営委員会・理事会(1/26, 2/15, 4/18, 6/16, 9/14, 12/7)；化学会館・オンライン併用	
財務・予算委員会(11 月下旬, 1 月下旬；メール報告)；人事委員会(9/6；化学会館)	
創立 80 周年記念事業	
組織・実行委員会（1/10, 4/24, 12/18；化学会館・オンライン併用, 6/8, 7/7；化学会館）	
出版委員会（1/30, 3/16, 5/24；オンライン, 11/29；化学会館）	
令和 6 年度役員候補者選出委員会(10/20)；オンライン	
支部関連	
【全支部】	
支部キャラバン(会長訪問・意見交換会)：隔年実施	
北海道 11/2；東海 8/22；関西 8/2；中国四国 11/18（未実施；東北, 関東, 九州山口）	
【北海道支部】	
幹事会；2 回（7/1, 11/2；北海道大学）	
【関東支部】	
支部常任幹事会；4 回(4/28, 7/6, 10/6, 12/22)オンライン併用、支部幹事会；2 回(4/28, 10/6)オンライン併用	
関東支部候補者推薦委員会；7/6；オンライン併用	
協会賞等支部推薦委員会；7/6；オンライン併用	
第 40 回有機合成化学セミナー組織・実行委員会；3 回(8/8, 10/10, 10/28)オンライン併用	
【東海支部】	
常任幹事会(2/18；名古屋・オンライン), 支部奨励賞選考委員会(4 月；メール会議), 協会賞等支部推薦委員会(7 月；	
メール会議), 支部総会(11/11；三重大学)	
【関西支部】	
幹事会；4 回（3/1, 4/28, 8/2, 10/23；大阪科学技術センター）	
【中国・四国支部】	
幹事会・懇話会合同会議；2 回（5/20 岡山大, 11/18 広島大）	
【九州・山口支部】	
事務引継会（2/9 九州大・オンライン併用）	
幹事会；2 回（6/2 九州大・オンライン併用, 10/26 東ソー(株)・オンライン併用）	

事業報告附属明細書

令和 5 年度事業報告には「一般社団法人および一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。